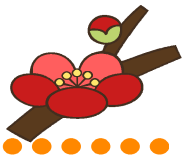
熱　意

小美玉市立小川南中学校　学校だより
NO．３３　令和3年1月7日　発行

教育目標　　これからの時代を切り拓く　たくましい生徒の育成
キーワード　熱意と誠意　　～　本気で　明るく　粘り強く　～

1月



令和３年，明けましておめでとうございます。昨年はコロナ禍で生活様式が激変した年になりました。今年は，ワクチン接種で新型コロナウイルスが終息し，東京オリンピック開催とともに，輝かしい年になることを願っております。

さて，３学期始業式にあたり，生徒に次のような挨拶をしました。

１・２年生には，学力定着度調査があります。これは，今までに学力診断テストで出題された問題から出されます。自分の実力が発揮できるように準備しましょう。

３年生は早速私立高校の受験があります。３月には県立高校の受検が控えています。高校受検は団体戦です。みんなが同じ方向をみて，みんなで受検の空気をつくっていきましょう。

３学期は学習だけでなく，周りの友達や先輩・後輩・先生との絆を大切にして，よい思い出づくりと感謝の心を伝える学期にしてほしいと思います。

それぞれの生徒が次のステージへと向かうために必要な力を付け，悔いの残らない３学期にしていくために，職員一同全力で生徒をサポートして参ります。

保護者の皆様にも，本校の教育活動に対しまして，ご理解とご支援を賜りますようによろしくお願い申し上げます。

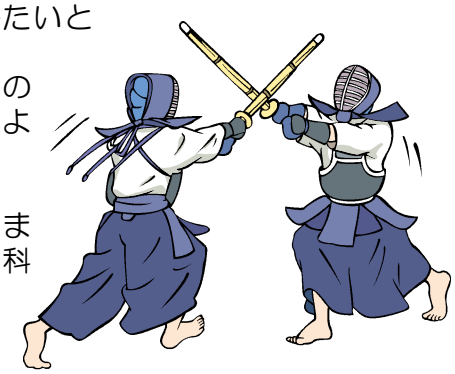
３学期の抱負

１年２組　皆藤　さん

去年の４月に，中学校に入学して９か月が過ぎました。新型コロナウイルスの影響もあって，今まで体験したことのない学校生活でした。２か月の休校があり，総合体育大会の中止など，いろいろなことがありました。

僕は，剣道が好きなので，剣道部に入部しました。総体が中止となったのは，本当に残念でしたが，新人戦は何とか参加することができました。

今年の目標は，剣道ができることに感謝しながら，県大会に出場することです。今年は２年生になるので，後輩の面倒をみながら県大会を目指したいと思います。



また，後輩の手本となれるよう，学業にも力を入れていきたいと思います。僕は，理科と社会が思うように点数が取れていないので，この２教科に力を入れて勉強したいと思います。

これから２年生となり，生徒会の仕事と部活動と勉強の３本をしっかりとできるように２年生になっての基礎固めをしっかりとしていきたいと思います。

３学期の抱負

２年３組　都　さん

目標をしっかりもったけど，まだまだと感じた２学期。より成長できるように３つの目標を掲げます。

１つ目は，勉強を楽しむことです。私はついこの間まで勉強が大嫌いでした。そんな時アカデミーの３年生が高校のことを考えているのを見て私も未来の自分のことを考えてみました。考えてみて心臓がバクバクして焦り始めました。来年のこの時期，苦しんでいる自分が思い浮かんだからです。それから，勉強を必死に取り組みました。自分なりに大事な所に印を付けるなど学習方法を工夫することでテストの点数も上がり，勉強することが楽しくなりました。なので勉強に苦手意識をもたずにお出楽しんで取り組んでいきます。

２つ目は，アカデミーの活動の中で技術を磨くことです。去年は，実力で全国大会初出

・・・裏へ　続く・・・

場を目標に日々全力で取り組んできました。私は選手権のピッチで戦いたいと目標にしてきました。その目標が叶い関東大会ではスタメンで出させてもらいました。沢山の人の思いを背負い，一瞬も気を抜かず戦いました。しかし，目標にしていた全国大会は叶いませんでした。関東大会で通用しなかった，奪ったボールを上手くおさめることや，ボールをねらった場所に止めて，ねらった場所に蹴るなど，当たり前のプレー技術を高めて，今年こそは全国大会出場を達成します。

３つ目は，学年委員長として，先輩たちが卒業した後，私たちが最高学年として小川南中を引っ張っていき，小美玉フットボールアカデミーを引っ張っていく学年になります。自分の中で人をまとめるのが得意な長所を生かしながら自分の行動で人を変えたいです。誰かのために何かするのも大事だと思います。色んな部分で，自分を見て「この人みたいになりたい」と心を動かせるような人になりたいです。２学年にはまだまだ最高学年になるという自覚がないと思います。なので４月までの約３か月は，自分たち自身が上に立つと自覚と責任をもつために足りないと思ったことを改善する時期にしていきます。そのような環境づくりもしていきます。

より具体的に目標を決めたので，達成できるよう頑張ります。

高校生に向けて

３年１組　代々木さん

僕にはこれまでの中学校での生活への反省と感謝の思い，そして，これからの将来に向けての目標があります。まず，反省と感謝したいことを２つ話したいと思います。

１つ目は，部活動についてです。僕は男子バスケットボール部に所属していました。未経験のままバスケットボール部に入り，キャプテンであった兄に追いつこうと必死に３年間努力しました。努力する中での先輩や後輩とのコミュニケーションは，自分にとって刺激的だったし，楽しく充実した時間でした。反面，試合では僕のメンタル，気持ちの弱さが顕著に表れてしまいました。その気持ちの弱さのせいでチームに迷惑をかけてしまったり，試合に勝てなかったりすることもあったと思います。そんな自分に３年間，声をかけ続けてくれたのが南條先生でした。僕が失敗したり，上手くいかなかったりした時，コートのどこにいても聞こえるように声をかけ，心に寄り添ってくれました。本当にありがたいことです。先生方や最高のメンバーとの部活動での時間は自分にとって大切なものとなっています。

２つ目は，学習についてです。小学生の時，僕は真面目とはいえませんでした。テストでは，毎回ひどい点数をとっていました。卒業間際，先生や家族から「君は中学校へ行ったら，きっと苦労をする。」と言われました。僕はその言葉にショックを受けると同時に悔しい気持ちになりました。だから，中学校では，勉強を頑張り，もっとできるようになろう，そして見返してやろうという気持ちをもって入学しました。初めての定期テスト，僕は思うような点数をとることができませんでした。「また，小学生の時と同じようになるのか。」とネガティブにとらえてしまい，それを２年生の終わりの頃までずっと引きずってしまいました。３年生になり，受検が近付くにつれて緊張感とあせりを感じました。それから僕は，今までのことを後悔しつつもこれまでの何十倍も努力して勉強をしました。そのおかげで，最近のテストでは，よい点数をとることができるようになりました。勉強でも努力したことは自分の成長につながると感じることができてうれしくなりました。

これからの目標は，高校に行っても部活動への努力と３年生での勉強の頑張りを両立して続けることです。そして，国立大学への入学，教師になるという将来の夢を果たしたいと思います。教師という職業は大変かもしれません。ですが，困ったときに先生が寄り添ってくれたこと，そして，かけてくれた言葉，これによって自分が変わることができた。この経験を，他の人にも伝え，その人に寄り添って行きたいと感じています。自分の夢に向かって高校でも努力を続けていきたいと思います。

中学校での残された日々。積極的にアドバイスをもらったり，自分にできることに取り組んだりして，全力で行動していきたいと思います。